

山行報告書

作成:2006年11月5日

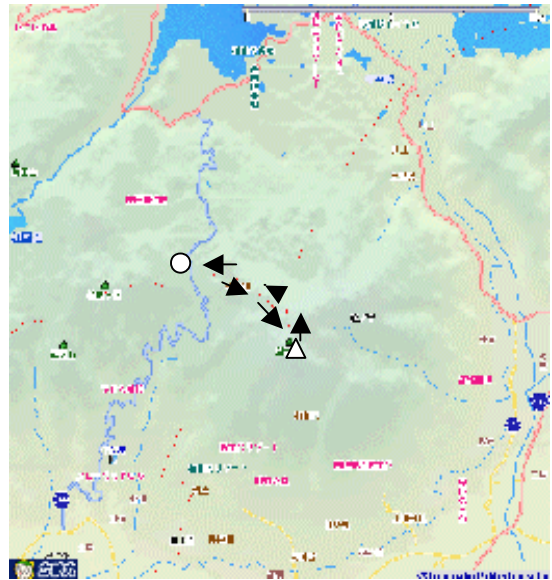
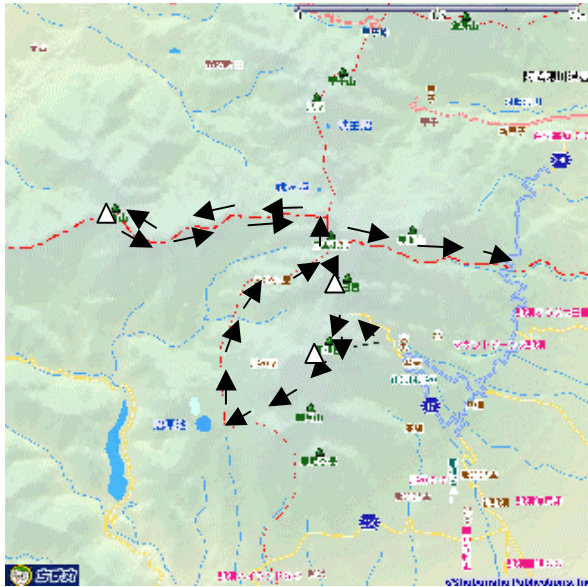
愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	那須岳・磐梯山	目的[方法]	紅葉鑑賞と秘湯を楽しむ
期間	10月13日~15日	形態	2泊3日宿・テント
参加人数	2人		

行動記録:

10/13(金)0:24JR 岡崎 = = ムーンライトながら = = 4:42 東京駅 = = 山手線 = = 5:10 上野 5:47 = = 東北本線 = = 8:28 黒磯駅 8:45 バス---9:45 那須岳山麓駅 10:00---(峰の茶屋) 11:35 茶臼岳
11:50 12:15 牛ヶ首分岐 (牛ヶ首) 姥ヶ平 13:40 14:10 沼原分岐 15:05 三斗
小屋温泉煙草屋旅館 19:00 就寝

10/14(土)温泉 6:15 7:20 隠居倉 7:55 清水平・朝日岳分岐 8:05 朝日岳・峰の茶屋分岐
8:20 8:40 朝日岳 8:50 9:10 北温泉・三本槍分岐 9:35 三本槍 10:05 10:30 北温泉
分岐 11:30 ロープウェイ分岐 12:00 林道出合 12:25 北温泉 12:45 北温泉P バス停(昼食)
= = = 14:10 黒磯駅 = = 15:40 裏磐梯 川上温泉 16:20 = = 五色沼 = = 17:20 八方台磐梯山登山口 P(泊)
10/15(日)5:00 起床 6:15 発---6:45 中の湯跡---8:05 弘法清水----8:45 磐梯山 9:25----9:50 弘法清
水 10:00----11:45 登山口 = = = 14:55 宇都宮 IC = = = 15:10 ロマンチック村 16:00 = = 17:25 宇都宮駅
= = = 19:20 東京駅 23:00----JR バス----11/16 5:00JR 岡崎駅着 解散



日誌:夜行列車は初めてだったので、眠れるかどうか心配していたけれど、ナント言うことはないしっかり眠ってしまった。旅なれた人たちは東京駅で短い乗り換え時間を使ってあっという間にいなくなりましたが、私たちはゆっくり朝の閑散としたホームに立っていた。黒磯駅からバスに乗り那須岳登山口へ。だんだんと渋滞になり、終点が見えているのになかなか着かない。ほとんどの人がロープウェイを利用する中、峰の茶屋に向けて歩く。ここは強風で有名な場所で、下山者が口々に風の強さを言うが、それほどには感じなかった。火口をぐるりと回って茶臼岳山頂へ。三角点は山頂にはなく、少し下がったところにある。牛ヶ首から姥ヶ平に向う道は去年歩いた八甲田の紅葉を思い出す。ここからは沢を渡ったり、樹林帯の中を歩いたりの気分の良い道を「三斗小屋温泉」に向う。次の機会があったら、沼原からの道を歩きたい。温泉にはすでに大勢の人がいて、夕日を見ながら女性専用時間の露天風呂に浸かった。至福の刻。翌朝朝日岳に向かう途中の分岐で、なんと！加藤夫妻に遭遇、私たちの計画書を見てここで会えると待っていたとのこと。一緒に三本槍に登り、別行動を取り、北温泉に下山。Mさんの知り合いのS夫妻と合流し磐梯山登山口の八方台に行き、Pのバス停待合でテントを張り、就寝。磐梯山の紅葉は美しい！美林の中を温泉跡まで登ると頂上が見える。さすが有名な山だけあって、人も多い。弘法清水というところには、休憩小屋が2軒建ち、冬の磐梯山の写真が掛けてある。やはり独立峰だけあって冬はずいぶん厳しそうだ。峰桜、ヤシオも多く、花の時期も良いだろう。山としては、ちょうど「蓼科山」に良く似ている。下山後花好きのSさん夫妻と花情報を交換しながら、宇都宮までご一緒させてもらい、餃子を3人前も食べ、東京に向かい、夜行バスまでの長い待ち時間を「フウテンの寅」さんのような人と会話したり、地下街をうろろしたりしながら過ごし、翌朝名古屋着。その足で、仕事に向かった。同行のMさんにすべてお任せの山行でした、ありがとうございました。